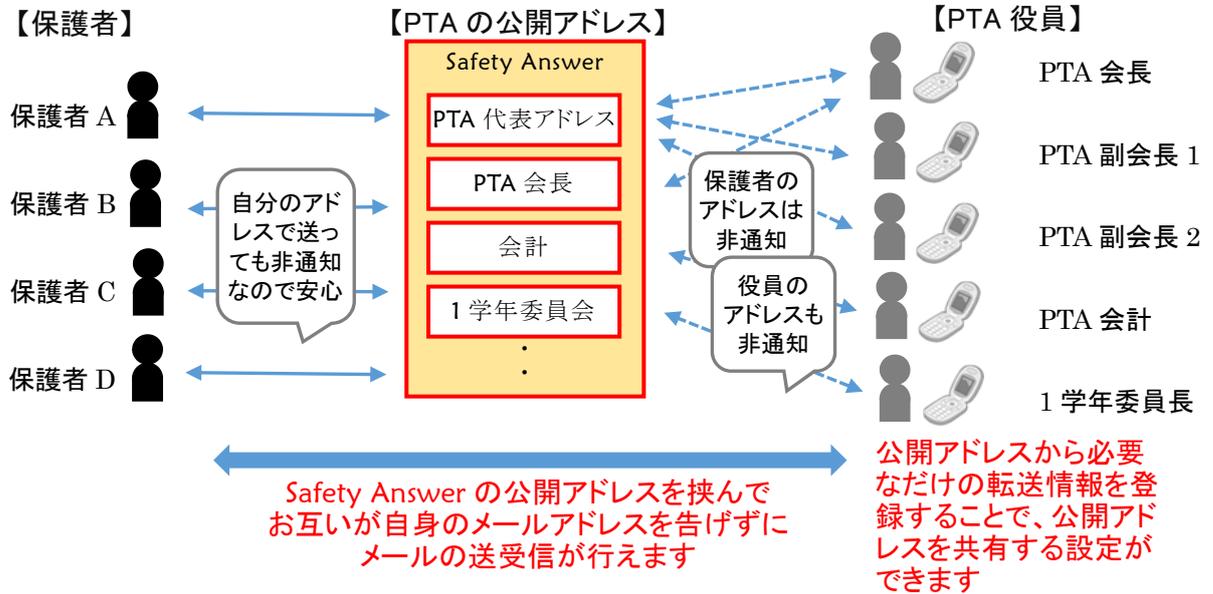


1. PTA 向けメール連絡網(PTA Protection)の利用例

① 学校の PTA で利用

PTA の役員や委員になると、多くの人と連絡をとる必要から、自分のメールアドレスを公開することを要求されます。そんな時に、**Safety Answer** で新規のメールアドレスを取得して PTA 役員の連絡窓口として活用することで、個人のアドレスを多くの人に教える必要がなくなります。



PTA の役員や委員は毎年代わるため、専用を取得したメールアドレスを使う場合には、毎年パスワードを変更したり、メールアドレスを変更したりするなどの作業が必要になります。

Safety Answer のアドレスを利用すると、毎年選任される役員や委員の個人アドレスを転送情報として登録し直すだけで、新年度の役員連絡先の登録が完了します。また、転送先の情報を一旦削除することで、宛先へ送信された履歴情報(非通知として保存されている送信者の情報を含め)も全て削除されるので、年度の切り替え時などの作業が容易に実施できます。転送情報は利用者が自由に管理できます。

そのため、保護者へ周知する窓口のアドレスは、毎年変更せずに継続して利用することも簡単に実現できます。

② その他

責任的な職務に就いたために自身のメールアドレスを公開しなければならない場合に、**Safety Answer** は効果を発揮します。

業務の外部委託に於いては、メールアドレス漏えいの心配が 100%なくなるとともに、委託先の管理が容易になります。

また、町会・自治会での連絡窓口や、マンション管理組合での連絡窓口など、連絡が取れれば個人のメールアドレスを収集する必要のない業務分野での活用が期待できます。